

保険者国保事業紹介



京都市食品衛生国民健康保険組合

食品国保は京都府・滋賀県で食品の製造販売業に従事する者が組織した協同組合で、38の同業団体のいずれかに所属する組合員を対象に昭和33年4月に京都府知事の認可を得て設立されました。主な保険事業としては、4月から始まる特定健診・特定保健指導や半日人間ドック・ミニドックをはじめとし、10月には健康体力づくりとしてウォーキング事業や温泉事業、重症化の防止を目的としたインフルエンザ予防接種助成事業、その他には年6回の医療費通知、年4回の後発医薬品差額通知、健康増進パンフレット等の送付を実施しております。今回は、その中で、健診事業を中心に紹介します。

◇特定健診・特定保健指導◇

40歳以上を対象に無料で受検できます。

特定健診の受診率は平成29年度で約60%です。厚労省が示す目標値の70%までは届きませんが、京都府の平均よりは高い実施率を誇っております。しかし、特定保健指導の実施率は10%台で、厚労省が示す目標値の45%にはまだまだかい離があります。引き続き実施率の向上に向けての工夫が必要であり、効果的な取り組みを進め、特定保健指導の対象者の減少を目指しております。一方、対象者自らが健診によって自身の健康状態を自覚し、生活習慣を振り返る心掛けと行動を促し、案内があれば、保健指導を上手に利用していただけるよう、まだまだ工夫が必要と考えております。



◇半日人間ドック◇

40歳以上を対象に一部負担金8000円で受検できます。

食品国保の半日人間ドックは、特定健診の検査内容はもちろんのこと、主要5大がん(胃がん・肺がん・大腸がん・乳がん・子宮がん)の検診内容が組み込まれており、国のがん検診の意向にも沿う内容になっております。検診の普及によりがんの早期発見・早期治療による医療費の軽減、また、罹患率・死亡率を減少させる重要な役割を担っていると考えております。また基本コースに加えて、脳ドックや平成29年度から始めた上腹部MRI、30年度から新しく始める大腸CT等の付加検診も実施しており、今後、さらなる実施率の向上を期待しております。



◇ミニドック◇

40歳以上を対象に一部負担金 3000 円で受検できます。
ほぼ半日人間ドックと変わらない検診を受けることができます。

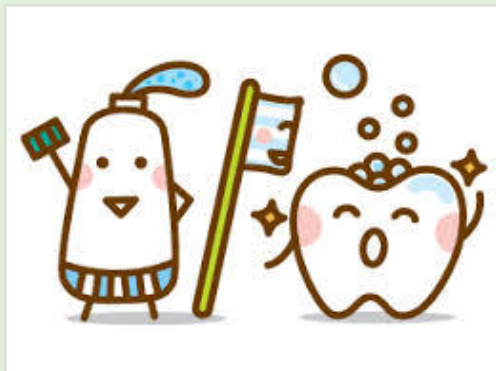
◇インセンティブ◇

健診事業受検者に、インセンティブ制度として 30 年度は歯周病ケア用品を贈呈し、特定健診受診率の向上や歯周病健診の定着につながることを期待します。

◇歯周病郵送検診◇

30 年度から半日人間ドック受検者を対象に無料で歯周病郵送検診を始めます。

歯周病は糖尿病との関連性が高いといわれており、有病率は 30 歳以上で 80% です。初期段階では自覚症状が少なく気づきにくい病気ですので、まずは時間や場所の制約のない郵送検診で受検者の生活改善の指標となることを期待しております。



◇今後の取り組み◇

最盛期には 11000 人であった被保険者数は年々減少し、現在では 1600 人台となりました。少子高齢化を背景に、財政の基盤となる被保険者数の減少、また国庫補助金の大幅な削減の影響が大きく、国保運営は大変厳しい状況であります。健診事業を中心に、被保険者の健康の保持・増進による将来的な医療費の削減を目的に健全な事業を展開できるよう取り組みが必要と考えております。

また、データヘルス計画の実施、保険者努力支援制度の評価指標を踏まえた取り組みを行い、さらなる保険事業の充実を図ることとし、健康寿命の延伸に繋げていくことができるよう、食品国保組合の実態に応じた保険事業の取り組みを行っていきたいと考えております。

